

歴博だより

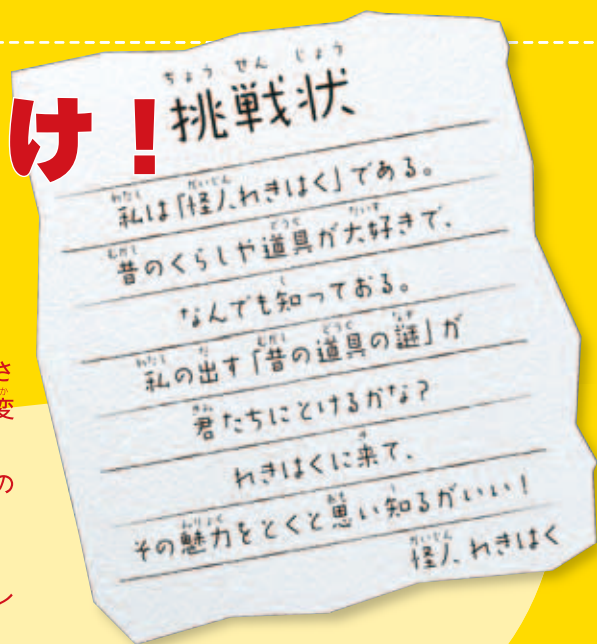
Museum of EHIME History and Culture's News

特集展示

昔の道具の謎をとけ！

～怪人れきはくからの挑戦状～

平成20年12月20日[土]～21年2月8日[日]



愛媛県歴史文化博物館には、昔のくらしで使われていた道具がたくさんあります。それは、今の私たちのくらしが、どのように作られて、変わってきたのかを調べて、たくさんの人に伝えるためです。

昔の道具には、使う人の知恵と工夫がこめられており、今の私たちのくらしとつながっていることがわかります。

ところが、そんな博物館に「怪人れきはく」から挑戦状が届きました！

どうか、怪人れきはくからの挑戦状をといて、昔の道具の謎にチャレンジしてください。

Q

これなに？



※クイズの答えは展示室でかくにんしてね。

Q

雨の日にはくのはどっち？

あ



い



(大人の方へ)

今回の展示では、小学校で学習する「古い道具と昔のくらし」を参考にしながら、愛媛県歴史文化博物館所蔵資料を中心に、昔のくらしに興味を持って頂ける道具を紹介しています。ちょっと昔にはどこにでもあった道具ばかりですが、今では実際に手にする機会は少なくなりました。博物館では、昔のくらしを今に伝える大切な資料として、道具を集め保管しています。「昔のくらし」が本やマンガ、テレビや博物館の中のできごとだけではなく、今のくらしとつながっていることを実感してもらえれば幸いです。そばにいる大人の方が、その経験をお話することで、子どもたちにとって道具はうんと身近なものになります。道具の名前や使い方は一つとは限りません。昔のくらしと道具について、博物館で語り合ってみませんか。

特集展示関連イベント

子ども向け体験&展示解説会

「昔の道具★ミステリーツアー」

日時/1月4日[日]・11日[日] 13:00～14:00

体験プログラム

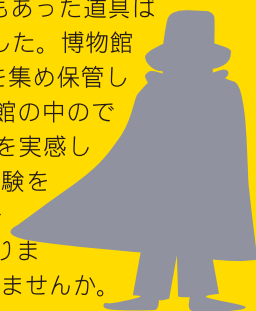
「冬だよ集合！昔のくらし探検隊」

日時/1月25日[日] 13:00～14:00

体験プログラム

「昔の道具ではかってみよう」

日時/2月1日[日] 13:00～14:00



民俗

縞帳しま ちよう

縞

模様
の布の端切れが丁寧に貼られて
います。かつて自宅で布を織っていた時代には、このような縞帳は、見本として重要な役割を果たしました。織った布の端切れを帳面に貼りつけ、次に織る際に模様や色を参考にするので、母から娘へ伝えられた縞帳には、自宅で織られた布の他に、交換した布も貼られています。上手な織り手の縞帳は、「貸して欲しい」と近所から頼まれたそうです。

この縞帳が当館へ寄贈された時、紙の間に新聞の切抜きが挟まれていました。野村町の女性の所蔵する縞帳が紹介された愛媛新聞の記事です。この記事を見て、寄贈者のお宅では「うちにある縞帳も大事なものだから置いておくように」と大切に保管されていたのです。新聞記事の掲載時期については不明ですが、縞帳に使われた紙には、明治一六年などの墨書が残されています。



ます。長い年月と愛情をかけて布を貼られた縞帳は、昔のくらしを今に伝える大切な資料です。

(主任学芸員 松井寿)

年代 大正から昭和時代
サイズ 縦20.1cm 横13.8cm
使用地 西予市宇和町
所蔵 当館蔵

歴史

「天下絶景」

面河溪案内図

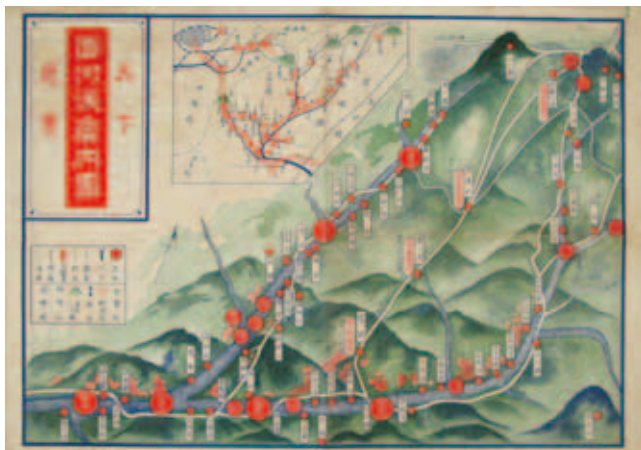
河溪は標高一九八二メートルの石鎚山に源を発する面河川上流の渓谷で、鬱蒼たる原生林、清冽な溪流、そびえ立つ奇岩などが組み合わさった景勝地として知られています。地元小学校教師であった石丸富太郎の新聞投稿をきっかけとして、海南新聞の編集長をはじめ、松山地方の詩人、画家、登山家、写真家の九名が明治四二(一九〇九)年に訪れて、それぞれの得意分野から記事が連載されると、面河溪の名は次第に広まりました。

本資料は、面河溪が国の名勝に指定される一年前に発行された観光パンフレットです。表面の観光案内図には関門、相思溪、五色河原、紅葉河原の名所を赤丸で目立つように示し、秋の行楽を意識して紅葉に染まる山並みが描かれています。裏面には宿泊料、中食料、時刻表、御土産案内などの面河溪観光の情報が記載されています。当時の交通手段は乗合自動車を中心

で、昭和四年に三社の共同経営による遊覧乗合自動車、松山から最寄りの柘原までを二時間三〇分で結びました。「日返り御一泊御随意」の文字が見えるように、面河溪は松山から日帰りでも行ける場所として定着していききました。観光情報満載の案内図は、手軽な行楽地として人気を集めた面河溪の魅力を余すところなく伝えていきます。

(専門学芸員 安藤久美子)

年代 昭和7(1932)年
サイズ 縦27cm、横38cm
所蔵 当館蔵



*縞帳は特集展示「昔の道具の謎をとけ！」(12月20日～)にて展示します。

WINTER EVENT

平成21年
1月4日[日]

とし 年はじめ れき はく 歴博ではじめよう



は こ いた マイ羽子板であそぼう！

無地の羽子板に絵付けして、マイ羽子板を作ろう。できあがった羽子板を使って、エントランスで羽子板あそびに挑戦！

- ばしょ エントランスホール
- じかん 13:00~16:00 (うけつけは15:00まで)
- ざいりょうひ 200円程度 (友の会会員は無料です)



え っ コマに絵付けしてみよう！

白木のコマに色をつけてみよう。まわすとどんな模様が見えるかな？コマのまわし方も教えてもらえるよ！

- ばしょ エントランスホール
- じかん 13:00~16:00 (うけつけは15:00まで)
- ざいりょうひ 200円程度 (友の会会員は無料です)

体験 学習室 NEWS

体験学習室では、第2・4日曜日、午後2時かられきはくボランティアによる「むかしのおはなし★かみしばい」や「ワークショップ」を開催しています。みなさん、ぜひあそびにきてね。

12月のよてい

ワークショップ おがくずねんどで リサイクルえんぴつをつくろう！

にちじ：12月14日[日] 14:00~16:00
ざいりょうひ：200円 (友の会会員は無料です)

お知らせ…12月28日[日]は、ワークショップ、「むかしのおはなし★かみしばい」共にお休みします。

1・2月のよてい

ワークショップ 羽子板やコマをつくって あそんでみよう！

にちじ：1月11日[日]、25日[日]
2月8日[日]、22日[日]
各日14:00~16:00
ざいりょうひ：各200円 (友の会会員は無料です)

学習支援プログラム

※要予約
お問い合わせ：振興課 企画普及係



「これは何に使ったモノかわかるかな？」
博物館では、学校団体向けに学芸員やボランティアさんと一緒に、展示や資料について理解を深めるプログラムをご用意しています。プログラムの一つ「資料が語る戦時中の暮らし」(対象：小学6年生以上)では、展示室の観覧の前に、戦時中の兵士や人々の暮らしにまつわる資料を使って分かりやすくお話しします。兵士が身につけていた服や出征にあわせて作られた千人針、空襲で落とされた焼夷弾や電気の傘に黒い布を巻きつけた灯火管制など教科書で見た資料をみなさんの目の前で紹介します。また、頭を守るために使われた鉄かぶとや防空頭巾もかぶってもらったり、足にゲートルを巻いてみたりする体験もできます。取り上げる資料や内容については、事前にご相談ください。



お問い合わせ：振興課企画普及係 tel.0894-62-6222

歴史文化講座

歴史講座

- 講座番号 **6** 「南予の戦国合戦」
 日時：1月24日(土) 13:30～15:00
 講師：山内治朋 (当館主任学芸員)
- 講座番号 **7** 「伊達宗城と島津斉彬」
 日時：2月21日(土) 13:30～15:00
 講師：藤田正 (当館学芸課長)

民俗講座

- 講座番号 **11** 「日本の裂織・愛媛の裂織」
 日時：3月21日(土) 13:30～15:00
 講師：今村賢司氏 (愛媛県生涯学習センター専門学芸員)

考古講座

- 講座番号 **15** 「えひめ考古学研究所の歴史を読み解く」
 日時：2月7日(土) 13:30～15:00
 講師：富田尚夫 (当館専門学芸員)

文書講座

- 講座番号 **17** 「長浜町会所文書を読む」①・②
 日時：①12月13日(土) 13:30～15:00
 ②1月10日(土) 13:30～15:00
 講師：安永純子 (当館主任学芸員)

体験講座

- 講座番号 **26** 歴史から学ぶエコ生活 和綴じ本をつくろう (定員：20名)
 日時：1月18日(日) 13:30～15:30
 講師：安藤久美子 (当館専門学芸員)
 対象：小学生以上 材料代：500円程度
 ※体験講座は小学生の場合、保護者同伴でご参加ください。

【各講座の申込方法】

希望する番号及び講座名とご住所・お名前・年齢・電話番号など必要事項を記入し、歴史・民俗・考古・文書は開講日の1週間前、体験講座は開講日の2週間前までに、はがきなどでお申込みください。
 ※定員に満たない場合は、申込締切後にも受け付けます。応募者多数の場合は抽選となりますのであらかじめご了承ください。

NEXT EXHIBITION

おひなさま

平成21年 2月17日[火]～4月5日[日]



3月3日、桃の節句にあわせて当館では、西条藩松平家の雛飾りや明治天皇・皇后の変わり雛まで、多彩なおひなさまを公開します。春のおだやかな一時、おひなさまに会いにきませんか。

TOPICS

皇太子さまが ご視察されました。



第32回全国育樹祭のため10月25日から来県されていた皇太子さまは、27日には当館をご視察されました。当館館長から施設の概要などをお聞きになられた後、歴史展示室を山本信吉名誉館長からの説明を受けながら、原始時代から戦国時代までの愛媛県の歴史に関する資料をご覧されました。とくに、関心をお持ちの中世瀬戸内海水運のコーナーでは、水軍の船の模型などを興味深くご覧になりました。

ご利用案内

- 開館時間:9:00～17:30 (入場は17:00まで)
- 休館日:毎週月曜日 (右カレンダーをご参照ください。)
- 観覧料

	大人	小・中学生
常設展 (特集展示を含む)	500円(400円)	無料

※ () 内は20名以上の団体
 ※65歳以上の方などは常設展は無料

Museum Calendar 2008.12-2009.2 ●休館日

12月							1月							2月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
*	1	●2	3	4	5	6	*	*	*	*	●1	●2	●3	1	2	●3	4	5	6	7
7	●8	9	10	11	12	13	4	5	●6	7	8	9	10	8	●9	10	11	12	13	14
14	●15	16	17	18	19	20	11	12	●13	14	15	16	17	15	●16	17	18	19	20	21
21	●22	23	24	25	26	27	18	●19	20	21	22	23	24	22	●23	24	25	26	27	28
28	●29	●30	●31	*	*	*	25	●26	27	28	29	30	31							